

かきのいらつめ、おほとものすくねやかもち
笠女郎、大伴宿禰家持に贈る歌一首

一六一六番

あさ 朝ごとに 我が見るやどの なでしこが 花にも
きみ 君は ありこせぬかも

やまぐちのおほきみ、おほとものすくねやかもち
山口女王、大伴宿禰家持に贈る歌一首

一六一七番

あきはぎ 秋萩に 置きたる露の 風吹きて 落つる涙は
とど 留めかねつも